



会長	熊谷敏明
幹事	菅原慶一
会報	氏家良典 江川元徳 佐藤幸一 飯塚仁哉
例会場	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30
事務所	ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2598回例会 2017. 6. 1 No.42

本日の出席率

・本日の出席率 98.18%

ニコニコボックス

- ・熊谷敏明会長 布施孝尚会員のスピーチ期待いたします。来週から国際大会出席のためアトランタに行ってきます。留守中菅原慶一幹事よろしくお願ひいたします。
- ・布施孝之会員 6月生れの会員の皆さん、お誕生日おめでとうございます。
- ・布施孝尚会員 今日はスピーチさせていただきます。宜しくお願いいたします。
- ・猪股育夫会員 布施孝尚会員のスピーチにご期待します。今年度の例会は全部で48回です。今月は5回あります。メークを入れて多くの会員が100%出席になります様、ラストスパート宜しくお願いします。
- ・菅原慶一幹事 布施孝尚会員のスピーチに期待して。
- ・鈴木彦太会員 布施孝尚会員のスピーチ、楽しみにご期待を申し上げます。宜しくお願いします。
- ・村上武彦会員 布施孝尚会員のスピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 布施孝尚会員のスピーチ、楽しみに拝聴しますよ。
- ・佐藤幸一会員 布施孝尚会員のスピーチ、大いにご期待いたします。
- ・八谷郁夫会員 地区協議会お世話様でした。一升ビン、酒注ぎの妙技、ご馳走様でした。
- ・菅原文之会員 やっと帰って来た新生布施孝尚会員のスピーチを歓迎して。熊谷敏明会長はじめ執行部の皆さん、もう少しでゴールです。最終例会を楽しみに頑張ってください。
- ・佐藤静市会員 布施孝尚会員のスピーチを楽しみに。6月誕生会員お目出度うございます。
- ・岩淵正彦会員 今日は、布施孝尚会員のスピーチになっております。話上手な布施孝尚会員、御指導願ひします。

- ・及川勝永会員以下、本日のスピーチに期待して。
佐々木崇会員 氏家良典会員 山田直志会員
佐竹孝行会員 遠藤光則会員 佐々木源悦会員
高橋利光会員 山田正会員 小野寺伸浩会員
富士原裕子会員 武川毅会員 及川昭宏会員
杉田広仁会員 佐藤早智子会員 及川富男会員
大畑好司会員 千葉正宏会員 加藤亮会員
阿部靖公会員 佐藤哲弥会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 熊谷敏明会長

本日から6月になり、暦の上では夏ということで、大分暑くなって参りました。皆さん、衣替えはもうお済みでしょうか。そして、気付けば私の会長の任期も残すところ1ヶ月となりました。なんか長いようで短いような、短いようで長いような11ヶ月間でしたが、最後の1ヶ月頑張って次年度にバトンタッチしたいと存じますので、変わらぬご協力よろしくお願い申し上げます。

さて、6月はロータリー親睦活動月間です。RIでは「レクリエーションや職業で同じ関心を持つロータリアン同士の国際的な親睦と親善の重要性を認識し、親睦活動への参加を促し、親睦活動プログラムへの理解を促すための月間」としています。

当クラブでも、親睦活動委員会が中心となり親睦事業を推進して参りましたが、今月の最終例会が、バトンタッチ例会という親睦プログラムによる例会となります。本日例会終了後、理事会を開催し詳細を決定いたしますが、ロータリーの親睦の意義を考慮し、多くの会員の皆様に参加いただきますようお願い申し上げます。

先週、地区協議会終了後、各表彰が行われ、当クラブは、ガバナー特別賞をいただきました。野球大会40周年事業を申請しており、それが認められました。記念品を廻しますのでご覧下さい。

また、私と高橋利光副会長は、6月10日~14日にア

トランタで開催されるロータリー国際大会に出席するため、6月6日渡米します。帰国は6月15日夕方の予定です。8日、15日と2週にわたり例会を欠席することになります。最終月に2週連続で留守にすること、誠に申し訳なく思いますが、楽しいお土産話を持ち帰りたいと存じますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

幹事報告 菅原慶一幹事

- ・ガバナー事務所より
ロータリー・リーダーシップ研修会、行事報告が届く
- ・宮城県登米保健所より
薬物乱用防止指導員指導研修会のお知らせ
日時 6月29日(木) 午後1時30分~2時50分
場所 宮城県登米合同庁舎・5階 大会議室

各委員会報告

- ・次年度関係 (高橋利光次年度会長)
次年度の少年少女剣道大会は、第35回となりますので、記念大会として開催いたします。内容を検討し地区に補助金の申請をしたところ、認められましたのでご報告いたします。申請に際し、八谷郁夫会員に助言をいただきました。ご協力に感謝申し上げます。
- ・親睦活動委員会 (千葉正宏委員長)
6月29日(木)の例会は、バトンタッチ例会です。内容につきましては、本日の理事会にて決定いたしますので、次週ご案内申し上げます。よろしくお願ひします。

誕生祝 (6月に誕生日を迎えられる会員)

佐藤敬喜会員 阿部泰彦会員 武川毅会員



6月に誕生日を迎えられる会員

今週のスピーチ

布施孝尚会員

私は、佐沼ロータリークラブに入る前、佐沼青年会議所に入会しておりました。入会したのは1991年でありまして、その年の6月7日(今から26年前)フィリピンのピナツポ火山が大噴火いたしました。

20世紀最大の火山噴火を起こしました。山の麓にはフィリピンの先住民でありますアイタ族が暮らしておりました。近隣には約3万人の人々が住んでいてということでした。アイタ族の皆さんは、山信仰をしておりましたので、噴火を鎮めるために、敢えて山に戻って行って多くの犠牲者が出たという地域でもあります。この様な状況の中で、翌年の1992年に私は日本青年会議所に出向することになりました。出向したメンバーは、ピナツポ火山噴火被災地支援ということで、5月にフィリピンに行ってきた。

当時は、噴火で大きな被害があったということだけではなく、アキノ大統領がフィリピン空港に戻った時に銃で撃たれて殺され、そういった騒動のさなかの大統領選挙のため、治安が非常に悪く、外務省からは海外渡航の自粛令が出ておりました。そんな中での渡航でありました。そして、色々な支援をいたしました。ピナツポ山の麓まで行く間の所は、火山灰が降り積って、ある所は教会の屋根の上まで積り十字架だけが見えて、あたり一面灰の平原でありました。

川に流れて来た火山灰を雨期になるまでに除去、そして、マングローブの植樹、これは、火山灰が降り積ったためマングローブがある海岸線がほぼ全滅したため、生態系が大きく変わって魚がすめない、食料が自給出来ないということがあって、一刻も早く環境を改善しなければならないためのプロジェクトです。

支援プロジェクトの第2弾は、先住民アイタ族の皆さんの生活支援を行いました。アイタ族の皆さんは、自然豊かなピナツポ山で狩猟をし、バナナ、タロイモ等自生しているものを取って自給自足の生活をしていました。火山灰が降り注いだためそういったものが取れなくなったこと、何よりも安全な飲料水を確保することが難しくなってきたこと、自給自足の生活をさせていく生活再建プログラムを図ろうと、このプロジェクトが始まりました。

被災地支援は、食物を贈るよりは、海の方であれば釣り竿をプレゼントして、きちんと食糧が確保出来るような支援をしなければ意味がないと言われております。ですから、これも、今までは自分が排泄したものはやっかいものとしてただ放置されておりました。その結果、衛生環境が著しく劣化して感染症の大きな元にもなるということ。しかし、し尿をしっかりため込んで、堆肥として活用すれば、むしろ生活の糧になる、価値あるものになるというプログラムを実践するために、こういった支援の取り組みをしました。

子供達に関しては、クレヨン、色えんぴつ、絵の具といった画材を持って行きながら、教育プログラムを実践し、継続的にこのようなプログラムを実践するためには、当然、現地で活動していただく皆様が必要ですので、当時から関係(セーブ・ザ・チルドレンジャパン)する団体と連携して継続的なサポートの支援をするプログラムを行っているという状況です。

— 映像を見ながら説明していただきました。紙面の都合上、要旨のみ掲載させていただきました。

第12回理事会議事録

協議事項

- (1)バトンタッチ例会 (6/29) について
6/9 親睦活動委員会で詳細確定予定
- (2)第2520地区第5分区分米・栗原ゾーン懇親バーベキュー大会 (6/25) について
希望者のみ参加、会費5,000円は会場にて集金
- (3)花泉ロータリークラブ創立40周年記念式典 (6/25)
会員3名参加、登録手続をする。
- (4)次年度の委員会に組織制度改革検討委員会をもうける。

出席者 (9名)

熊谷敏明 高橋利光 山田正 岩淵正彦 及川昭宏
小野寺伸浩 武川毅 千葉正宏 菅原慶一